

Regeo

MZ-1024DSC

ワンセグチューナー内蔵9.3インチポータブルディスプレイオーディオ

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・取付・使用方法でお
使ってください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みくだ
さい。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

<販売店様へ>

接続、取付作業が完了しましたら、本書はお客様へお渡しください。

目次

はじめにお読みください

安全上のご注意 (必ずお守りください) ……	1	AirPlayモード ……	35
使用上のご注意 (必ずお守りください) ……	4	Mirroringモード ……	39
商品構成一覧表 ……	7	Bluetooth ……	42
各部の名称と働き・機能説明 ……	8	Bluetoothを接続する ……	44
取り付け ……	10	Bluetoothを使用する ……	45
電源の入れ方・切り方 ……	16	音声出力設定 ……	47
microSDカードの挿入・取り出し ……	17	機能設定 ……	49
メインメニュー ……	18	2画面表示 ……	51
AVソース ……	19	別売品について ……	52
TV (ワンセグ) ソース ……	20	トラブルシューティング ……	60
Musicソース (SDミュージック) ……	25	SDカード/メディアについて ……	61
Movieソース (SDビデオ) ……	27	仕様 ……	62
Apple CarPlayモード ……	29	MEMO ……	63
Android Auto™モード ……	32		

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり、仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の注意事項をよくお読みの上、取り付けおよびご使用ください。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。
- 付属品以外の機器やケーブル類を使用した場合による、本機の故障や動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

お守りいただく内容種別を次のイラスト表示で区分し、説明しています。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると
火災や発煙・発火、故障の原因になります。
ヒューズの交換や修理は、お買い上げの
販売店または弊社サービスセンターに
ご依頼ください。(ヒューズ:3A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を
及ぼす場所には、絶対に取り付けない



運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハ
ンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる
場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り
付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトや
ナットを絶対に見しなさい



ステアリングやブレーキなどの保安部
品のボルトやナットを使用して取り付け
ると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また
画像・表示を注視しない



走行中の操作や画像・表示の注視は、前
方不注意による交通事故の原因になりま
す。必ず安全な場所に停車し、サイドブレ
ーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け配線後は、車の電装品が正常に
動作することを確かめる



車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、
ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作
しない状態で使用すると、火災や感電、
事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げに
ならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・
足などに巻き付かないように引き回し、まと
めたり固定しておく等、配線処理してくだ
さい。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12-24Vマイナスアース車で使用する

- ⚠ DC12-24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ❌ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- ❌ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ❌ あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子(⊖)を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない



車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない



落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない



直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない



強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止



車載用以外には使用しない、強い衝撃を与えない、雷が鳴り出したらシガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因になることがあります。

本機の通風孔を塞がない



本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

取付中はエンジンを切る



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態では取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

取扱上のお願

- 本機の使用上による交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけてください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの損害は、一切の責任を負いかねます。
- 本機を運転の支障をきたす場所や同乗者に危険を及ぼす場所に置いたり、取り付けをしないでください。
- 走行中は、運転者による操作や画面の注視は行わないでください。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所へ停車してください。運転者の画面注視は法律で禁じられています。
- 長時間連続動作をさせた場合、本機の一部が温くなる場合があります。長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますので、ご注意ください。
- 直射日光の当たる場所や極端な高温・低温・多湿になるような環境下に長時間放置しないでください。
- 本機へ無理な力がかかると液晶画面や内部基板等が破損し、故障の原因となりますので、持ち運ぶ際はご注意ください。
- 強く押したり、叩くなど故意に強い衝撃を本体及び液晶画面に与えないでください。傷の発生や破損、故障の原因となります。
- 液晶画面へのタッチ操作は、先の尖った鋭利なペンや棒などのご使用はおやめください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間視聴しますと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 本機は車載機器専用となります。
- 本機を船舶・航空機などの主航行機器として使用しないでください。
- 本機を登山用地図として使用しないでください。
- 本機は二輪車での使用環境を想定していませんので、二輪車での使用はおやめください。
- 本機は日本国内仕様となります。海外ではご使用にならないでください。
- 市販のFMトランスミッターなどを接続した場合、本機にノイズが入る場合があります。
- ドライブレコーダー等を近づけた場合、本機にノイズが入る場合があります。
- 本機は精密電子機器となりますので、分解や改造は絶対にしないでください。

使用上のご注意(必ずお守りください)

取扱上のお願

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 日本国内のみで使用してください。
- 海外では使用できません。海外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。
- 本機の使用周波数帯(2.4GHz/5GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 下記の電子機器との距離が近い場合、電波干渉により、正常に動作しなくなる場合があります。また、ノイズが生じる場合があります。
→2.4GHzの周波数帯域を使用する電子レンジ、コードレス電話、無線LAN機器等
→テレビ(BS/CSチューナー含む)、ラジオ、ビデオ等のAV機器等
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、サービスセンターに御連絡いただき、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合等何かお困りのことが起きた時は、サービスセンターへお問い合わせください。
- 本体の技術基準適合証明ラベルを剥がさないでください。剥がして使用した場合、電波法により罰せられることがあります。
- 分解したり、改造したりすることは電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- 本機は電波を使用していることから、第三者が故意または偶発的に傍受することが考えられます。重要な通信および人命に関わる通信には使用しないでください。
- 本機の通信用アンテナは、本体に内蔵されています。植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペースメーカー、パルスジェネレーター、植込み型除細動器以外の医療用電気機器をご使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

使用上のご注意(必ずお守りください)

⚠ ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準(※)に適合させるため、下図イラストのように運転者の視界を妨げないように取り付けください。また、フロントガラスおよび側面ガラス(運転席の左右)への取り付けは保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

※道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

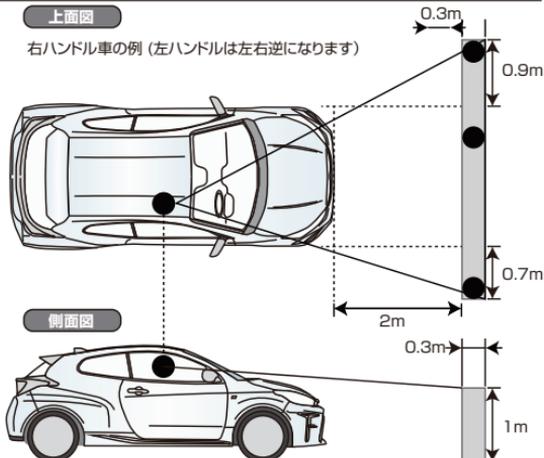
※最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください

前方視界について

基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡などを用いず直接確認出来ること。

- 運転視界基準エリア
- 高さ1m、直径0.3mの円柱

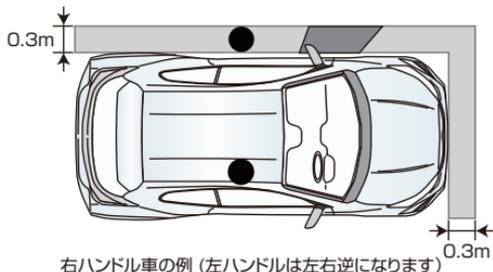


直前直左視界について

基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること

- 運転視界基準エリア
- 高さ1m、直径0.3mの円柱
- 適応外エリア
Aピラーまたは室外後写鏡により視界が妨げられるエリア



商品構成一覧表

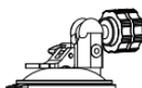
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

同梱物

■ 本体



■ 吸盤スタンド



■ 吸盤プレート (3M製粘着シート付)



■ シガー電源アダプター (約1.5m)



■ ケーブルクランパー (4個)



■ クッション



■ クリーニングクロス



■ 脱落防止ストラップ



■ AUXケーブル変換 ユニット(AUXケーブ ル0.1/0.5m)



■ 取扱説明書



■ 保証書



⚠ 使用上のご注意

1 シガー電源アダプターについて

- 付属のシガー電源アダプターは、車両のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤動作の原因になることがあります。
- 長時間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

2 吸盤スタンドの使用について

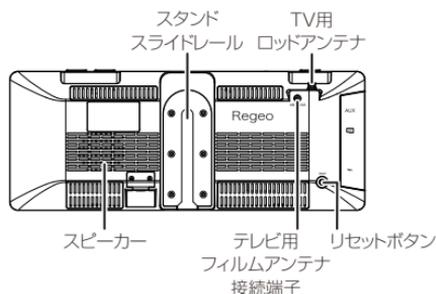
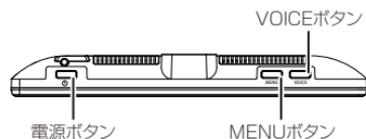
- 吸盤スタンド(取付用シート)は、運転に支障をきたさない位置またはエアバッグなどの安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、取り付けの際は取り付けようとする箇所強度が十分に確保されているかを必ず確認してください。
- 吸盤スタンド(取付用シート)は、ほかの器具と組み合わせでのご使用はおやめください。脱落や落下する恐れがあります。

3 液晶保護フィルムについて

- ご購入時、液晶画面に保護フィルムが貼付されていますので、剥がしてからご使用ください。

各部の名称と働き・機能説明

本体



ボタン	機能説明
電源ボタン	長押しすると、本機の電源ON/OFFすることができます。
MENUボタン	短押しすると、メインメニューを表示します。 長押しすると、ディスプレイオフ(画面消し)します。
VOICEボタン	発話や音声認識に使用します。
AUX OUT	付属のAUXケーブル変換ユニットを接続します。(詳細はP48参照)
microSDカード挿入口	市販のmicroSDカードを挿入します。
シガー電源アダプター 接続端子	付属のシガー電源アダプターを接続します。
マイク	音声アシスタントを起動します。
タッチパネル	
スピーカー	
スタンドスライドレール	吸盤スタンドを取り付けます。
テレビ用ロッドアンテナ	テレビを見るときに伸ばして使用します。
テレビ用フィルムアンテナ 接続端子	別売品のフィルムアンテナを接続します。
リセットボタン	本機をリセットすることができます。

各部の名称と働き・機能説明

⚠ 注意

- 付属されているシガー電源アダプター以外は絶対に使用しないでください。正常に動作しなくなったり、故障の原因となります。
- 本機とパソコンの接続は、本体の内蔵メモリが破損する可能性がありますので、行わないでください。
- microSD カードを挿入する場合は、挿入する向きにご注意ください。
- microSD カード以外のものは挿入しないでください。金属類や燃えやすいものなどを挿入すると火災・感電の原因となります。
- 本機の電源がオンの状態で microSD カードやを挿入しないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 各メディア再生中に microSD カードを挿入しないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 本機はすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カード内の大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。microSD カード内のデータ消失およびそのほかの損害が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ボールペンやシャープペンシルなどでタッチパネルに触れると傷ついたり、正しく動作しない場合がありますので、おやめください。
- タッチパネルや外周枠を強く押さないでください。強い圧力をかけると液晶の劣化や故障の原因となります。お手入れの際は、十分に注意してください。
- 液晶を固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化とタッチパネルを傷つける原因となります。
- 極端に温度の高い場所と低い場所に本機を放置すると、液晶の劣化や故障の原因となります。
- 周囲の温度が高温、低温時には液晶表示が見にくくなったり、反応が鈍くなったりします。これはタッチパネルの特性によるものであり、故障ではありません。
- 液晶のお手入れは付属のクリーニングクロスを使用し、画面を軽く拭いてください。
- タッチパネル部分が破損した場合は、パネル部分には絶対に触れないでください。

取り付け

取り付けの前に

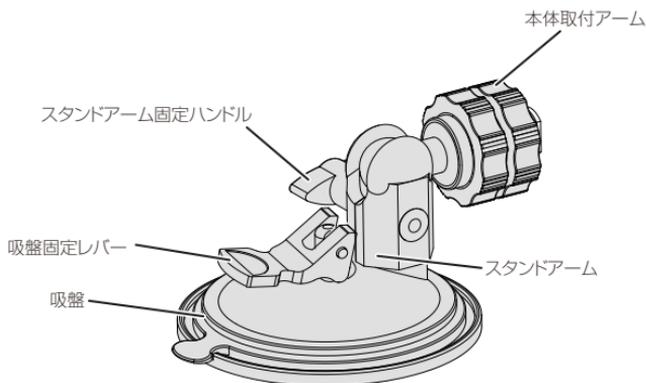
- エアバッグが装着されている車に取り付ける場合、絶対にエアバッグの作動を妨げる場所には設置しないでください。
※お買い上げの販売店または専門業者にご相談の上、取り付け場所を決めることをお勧めします
- 吸盤スタンドならびに取付用シートの設置場所は、ダッシュボード上が平らな場所を選んで設置してください。
- 吸盤スタンドをダッシュボード上に置いた際、吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、隙間がないことを確認して取り付けしてください。

取り付け時のご注意

- 吸盤スタンドを取り付ける際、本機がワンセグ受信ができるかを確認して設置してください。
- 付属品の吸盤スタンドおよび取付用シートをご使用ください。
- フロントガラスには絶対に取り付けしないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートの貼り付け場所は、必ず付属のクリーナークロスできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除き、乾いた状態で貼り付けてください。
※車種によっては、クリーナークロスでダッシュボードが変色する場合がありますので、あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。
- 取付用シートは貼り直すと粘着力が低下しますので、おやめください。
- 運転前に吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

吸盤スタンドの取り付け

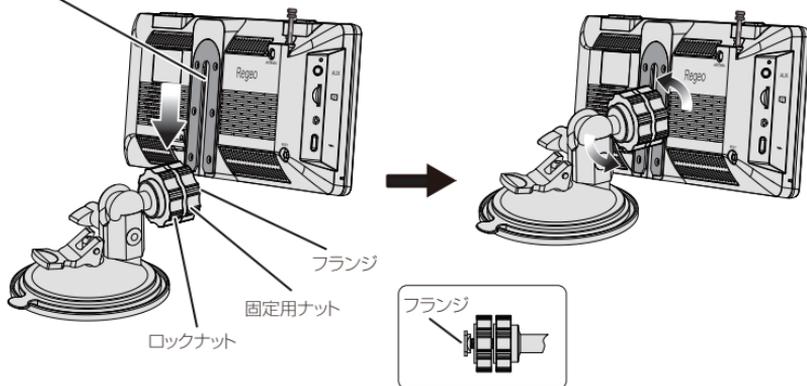
1. それぞれの固定ハンドルを緩め、ナビ取付アーム部の上下位置（角度）を調整し、固定ハンドルを締めて固定をします。



取り付け

2. 本体裏面のスタンドスライドレールにフランジを合わせてスライドさせます。
固定用ナットを締めた後、ロックナットを締めて固定します。

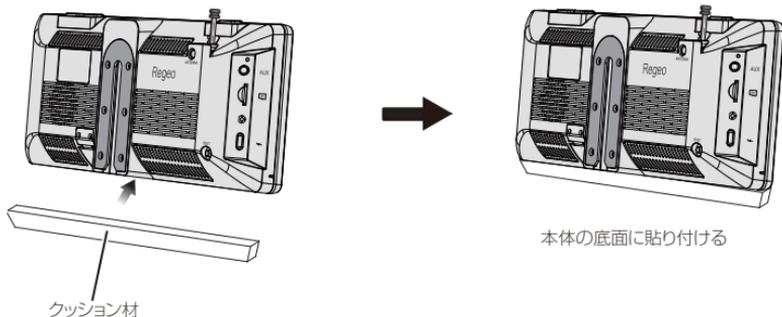
スタンドスライドレール



3. ダッシュボード上の見やすい位置に取り付けます。
※取り付け位置が決まったら、一度吸盤スタンドから本体を外してください

クッション材を使用する

振動によるグラつきやダッシュボードへの傷を防ぐため、本体の底面に付属されているクッション材を貼り付けてください。
クッション材がダッシュボードにあたるように調整してください。



取り付け

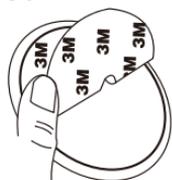
取付用シートを貼り付ける

ダッシュボードの材質や表面の状態によって、吸盤の吸着力が十分得られないことがあります。その場合、必ず付属の取付シートをご使用ください。

取付用シートを貼り付ける前に

- ・取付用シートの貼り付けは一度のみです。貼り直しはできませんので、慎重に作業を行なってください。
- ・取付用シートを貼り付ける場所をクリーナークロスできれいに拭いてください。
- ・空気が入らないように端から貼って、強く押し付けてください。
- ・気温が低い場合（20℃以下）は、粘着力が低下しますので、車内ヒーターで車内温度を上げてから貼り付けてください。
- ・貼り付け後、粘着力を高めるため、24時間は取付用シートのみ状態で放置してください。

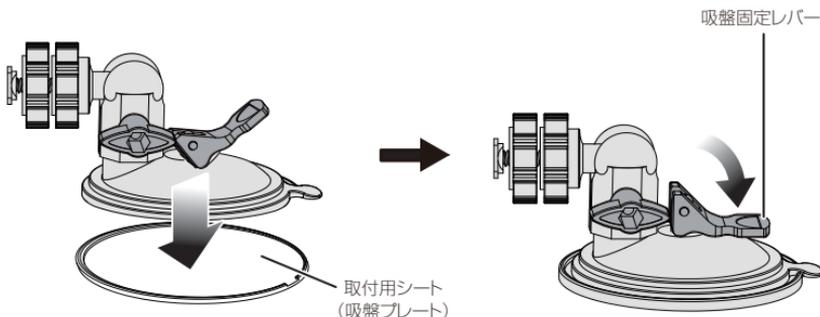
1. 取付用シートのはくり紙をはがします。



2. 設置場所をクリーナークロスできれいに拭き、乾燥されている状態で取付用シートを貼り付けます。

取付用シートに吸盤スタンドを取り付ける

1. 吸盤面についている吸盤スタンド保護シートをはがして、取付用シートに強く押し付けながら貼り付け、吸盤固定レバーを倒し吸着させます。



取り付け

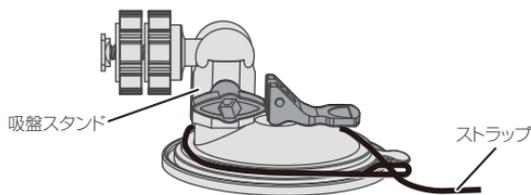
脱落防止ストラップの使い方

本機を安全にご使用いただくため、必ず本製品が脱落しないように車両と本体をストラップで繋いでいただき、脱落防止をおこなってください。

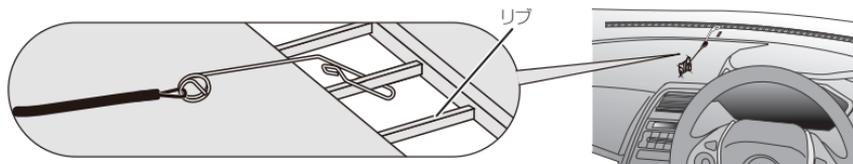
- 1.フックが丸くなっている部分へストラップを通し、結んで取り付ける



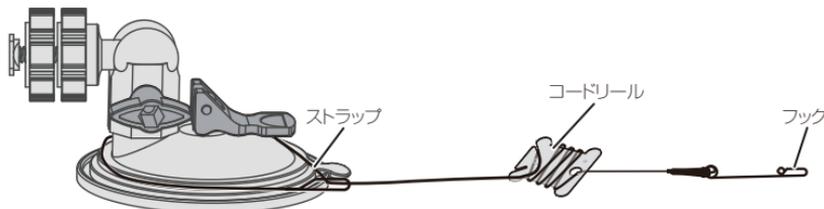
- 2.専用スタンドの隙間にストラップを通し結んで取り付ける



- 3.フックを車両のデフロスタ(フロント部分のエアコン送風口)のリブ部へ取り付ける



- 4.スタンドの位置を固定して、余ったストラップをコードリールに巻きつけて緩まないように長さを調整する



取り付け

吸盤スタンドへ本体を取り付ける

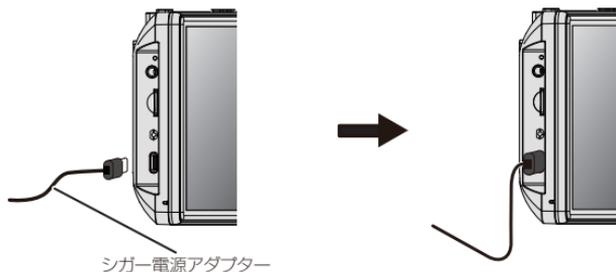
1. 本体裏面のスタンドスライドレールにフランジを合わせてスライドさせます。
固定用ナットを締めた後、ロックナットを締めて固定します。

本体を取り付ける時は

- ・吸盤スタンドのアーム固定ハンドルをしっかりと締めてください。
- ・固定が弱いと走行中、車の振動等により固定ハンドルが緩み、本体の取付角度が変わる恐れがあります。

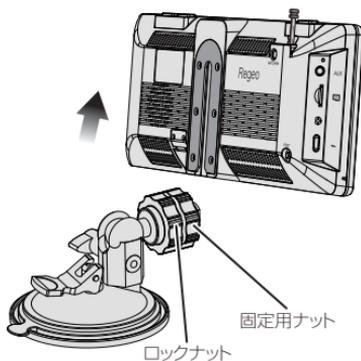
シガー電源アダプターを本体に取り付ける

1. 付属のシガー電源アダプターを接続端子へ差し込みます。



本体の取り外し方

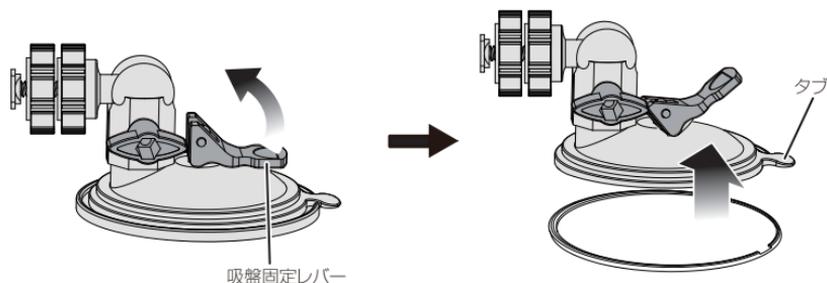
1. ロックナットを緩めた後、固定用ナットを緩めて本体を上方向にスライドさせます。



取り付け

本体の取り外し方

1. 吸盤固定レバーを上げ、タブ（吸盤のつまみ）を利用し、ゆっくりと慎重に取り外しをします。



⚠ 注意

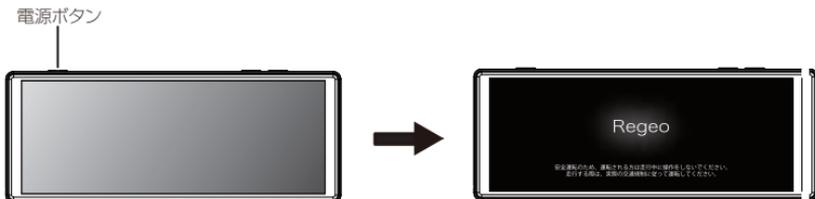
- 本機は道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードへ取り付けてください。
- 取り付けに関しては、「使用上のご注意」をよくお読みの上、取り付けを行ってください。
- 運転に支障となる場所には取り付けないでください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の働きを妨げる場所には、絶対に取り付けをしないでください。事故の際、安全装置が働かず、怪我の原因となります。
- 一度取り外した取付用シートは粘着力が低下します。再度の使用はおやめください。本機が落下して怪我の原因となります。また、無理に剥がしますと、車のダッシュボードに損傷を与える場合がありますので、ご注意ください。
- 吸盤スタンドによる高さや角度調整時、ハンドルを確実に締めてください。
- 取り付けの際は、必ず付属されている部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、脱落や落下、破損する恐れがあります。
- 本機は自動車専用品となりますので、自動車以外には使用しないでください。
- 高温・低温時は吸盤の吸着力が低下します。車内が適温になってから作業を行なってください。
- 取り付け・取り外しは、無理な力で押ししたり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。
- ダッシュボードに取り付けた状態で長期間放置すると、吸着力が低下し、脱落する場合があります。運転時には取り付け状態を確認してください。
- 本機取り付け・取り外しにおいて、本機およびダッシュボードやそのほかの箇所に対し、変形や損害が生じても弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電源の入れ方・切り方

電源の入れ方(電源オン)

以下のいずれかの方法で電源を入れることができます。

- シガー電源アダプターが接続されている状態で車のエンジンをONにする (ACC ON)
- 電源ボタンを長押しする



電源がオンになると、オープニング画面が表示されてから、メインメニュー画面が表示されます。

電源の切り方(電源オフ)

以下のいずれかの方法で電源を切ることができます。

- 車のエンジンをOFFにする(ACC OFF)
- 電源ボタンを長押しする

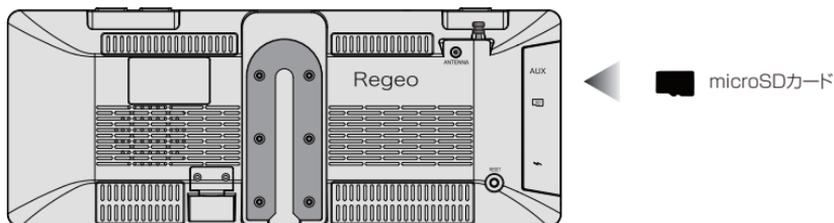
メモ

- ・電源をオンにした直後にACC OFF操作で電源がオフになった場合、すぐに電源オフされない場合があります。これは、本体の過電流・逆電流を防止するため電源保護回路の働きによるものであり、故障ではありません。
- ・車のエンジンオフなどでシガー電源アダプターからの通電がなくなると、自動的に電源が切れ、再び通電されると電源が入ります。
- ・本機の電源をオフにしてからすぐに電源ボタンの長押しをしても電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。

microSDカードの挿入・取り出し

microSDカードの入れ方/取り出し方

1. microSDカードスロットにカードを奥までゆっくと差し込みます。
2. 「カチッ」と音がするまで差し込みます。



<取り外す場合>

取り外す際は、microSDカードを一度奥に押し込んでから、ゆっくと真っ直ぐに引き抜いてください。

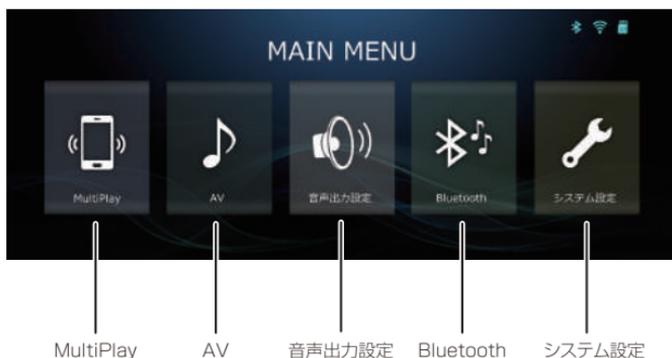
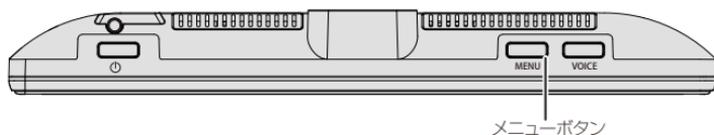
△注意

- microSD を押し込んだ後で指をすぐに離さないでください。強く押し込んだ状態で指を離すと、カード類が飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となります。
- 万が一、カード類が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、サポートセンターへお問い合わせください。

メインメニュー

メインメニューについて

本体メニューボタンを押下すると、メインメニュー画面が表示されます。メインメニューに切り替えることで、ナビゲーションや各ソース(DTVやSDメディア)、設定画面にアクセスすることができます。

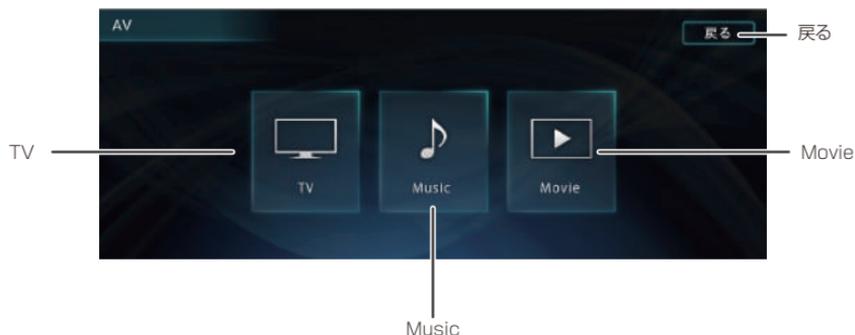


アイコン	機能説明
MultiPlay	CarPlay/Androd Auto/AirPlay/Mirroringモードに切り替えます。
AV	各種AVソース画面に切り替えます。
音声出力設定	音声出力設定画面に切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth設定/オーディオ画面に切り替えます。
システム設定	システム設定画面に切り替えます。

AVソース

AVソース選択画面について

メインメニューの[AVソース]を選択すると、以下のようにAVソース選択画面が表示されます。



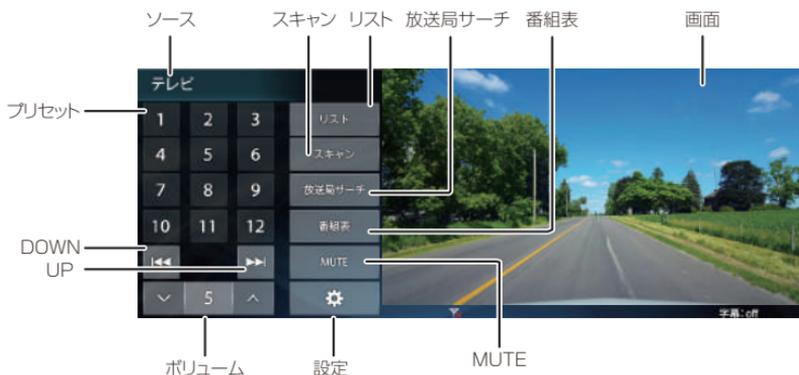
アイコン	機能説明
TV	テレビソース画面に切り替えます。
Music	SDミュージックソース画面に切り替えます。
Movie	SDムービーソース画面に切り替えます。
戻る	一つ前の画面に切り替えます。

TV(ワンセグ)ソース

TVソースについて

本機はワンセグチューナーが内蔵されていますので、ワンセグ放送の視聴をすることができます。

TVソース画面



アイコン	機能説明
ソース	AVソース選択画面に切り替えます。
プリセット	スキャン後に放送局がプリセットされます。 プリセットボタンをタッチすると、放送局を切り替えることができます。 前または次のプリセットされた放送局に切り替えます。
UP/DOWN	番組表を表示します。
番組表	受信可能な放送局を検索し、受信可能な放送局をプリセットに登録します(工場出荷後はスキャンを必ず行なってください)。
スキャン	ONにすると、受信感度が低下した際、自動的に受信可能な放送局(中継局)を探すことができます。
放送局サーチ	音量を切り替えることができます。
ボリューム	音声をミュート(消音)にします。
MUTE	

TV(ワンセグ)ソース

アイコン	機能説明
リスト 設定 画面	プリセットされているチャンネルリスト画面に切り替わります。 TVソースの各種設定画面に切り替わります。 画面をタッチすると、映像画面に切り替わります。



アイコン	機能説明
アンテナ強度 プリセット番号/ 受信チャンネル 放送局名 字幕種別	ワンセグの受信感度をアンテナ表示します。 プリセット番号と受信(3桁)チャンネル番号を表示します。 放送局名を表示します。 字幕の種類を表示します。 ※字幕を選択している場合、字幕の種別番号を表示します(番組依存)

TV(ワンセグ)ソース

チャンネルリスト画面



アイコン	機能説明
リスト	リストを選択すると、選択された放送局に切り替えます。 ※スキャンを行ったエリアかつ受信可能な放送局をリスト表示します
戻る	一つ前の画面に戻ります。

テレビ

ワンセグの各種機能を設定することができます。



アイコン	機能説明
放送局サーチ設定	放送局サーチの自動切り替えのオン/オフを切り替えることができます。 ※オンにすると、受信状況が悪化した場合、自動的に受信可能な放送局を探します
音声・字幕設定	音声や字幕の設定を切り替えることができます。 ※番組依存となるため、設定しても切り替わらない場合があります
情報	バージョン情報を確認することができます。
テレビ設定リセット	テレビ設定を初期化することができます。
戻る	一つ前の画面に戻ります。

TV(ワンセグ)ソース

放送局プリセット(登録)する

初めてご使用になる場合や初期化した後は、放送局が登録されていないため、必ずスキャンを行ってください。スキャンを行うと、受信可能な放送局がプリセットに登録されます。



スキャンをタッチします



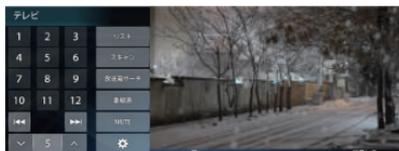
スキャン中画面に切り替わり、プリセットに放送局を登録します

⚠ 注意

- スキャンを行うと、プリセットされていた内容は消去されます。
- スキャンする環境やエリアによって、登録されるチャンネルは異なります。

番組表を見る

現在受信している放送局の番組表を表示することができます。



番組表をタッチします



番組表が表示され、番組リストをタッチすることで詳細情報を表示します

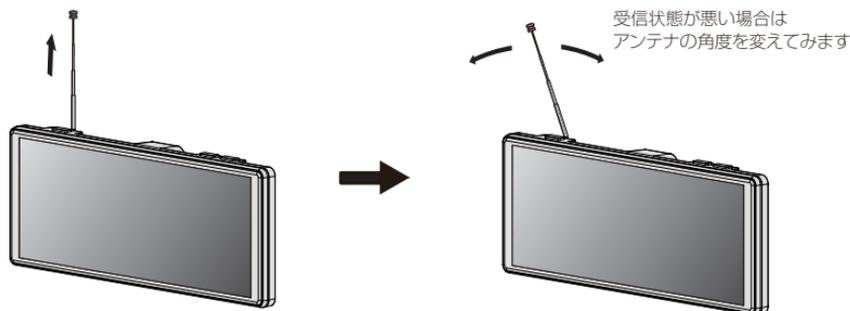
⚠ 注意

- 放送時間が過ぎてている番組は表示しません。

TV(ワンセグ)ソース

ロッドアンテナについて

TV(ワンセグ)を視聴する際は、本体背面にあるロッドアンテナを引き伸ばしてください。



⚠ 注意

- 走行中の操作や画面注視は非常に危険であるため、おやめください。
- 初めてご使用になる場合や初期化後はスキャンを行ってください。
- 場所やエリア、環境等により、受信が安定しない場合があります。
- 受信が改善しない場合は、受信感度の良い場所に移動してください。
- スキャンは環境やエリアによって、数分かかる場合があります。
- スキャンを行なった後、受信ができない場合は、自車位置を別の場所に移動してから再度スキャンを行ってください。
- 特にビル群や山間部、高架下、遮蔽物がある等の環境下では受信しにくくなります。
- 受信できない放送局のチャンネルボタンをタッチしても切り替わらない場合があります。
- 受信感度により、映像や音声途切れる場合があります。
- 受信感度が低下した際、映像にブロックノイズが発生する場合があります。
- 番組の情報取得ができていない場合、番組表が表示できない(空欄)になる場合があります。
- 操作、視聴する際は車を安全な場所に停めて、サイドブレーキを引いた状態で行なってください。
- ロッドアンテナを引き出す時、無理な力で引っ張らないでください。アンテナが折れたり、曲ったりと破損、故障の原因となります。
- ロッドアンテナは最後まで確実に引き出してください。
- ロッドアンテナを目や顔に近づけないでください。アンテナの先端に接触して、事故や怪我の原因となる場合があります。
- ロッドアンテナを引き出して使用する際は、周囲に十分ご注意ください。

📝 メモ

ワンセグの受信感度を向上させたい場合は、別売品のテレビ用フィルムアンテナを別途お求めください。

→P.52参照

Musicソース(SDミュージック)

Musicソースについて

市販品のmicroSDカードに音楽ファイルをコピーして、本機で音楽再生することができます。

Musicソース画面



アイコン	機能説明
ソース	AVソース選択画面に切り替えます
アートワーク	アートワーク表示します。 ※ファイルにアートワークが書き込まれている場合に限り表示します。
プログレスバー	再生時間をプログレスバーと分秒で表示します。
PLAY/PAUSE	再生または一時停止をします。
DOWN	ファイルダウンをします。
UP	ファイルアップをします。
フォルダリスト	フォルダリストから再生したいファイルがあるフォルダを選択します。
ファイルリスト	ファイルリストを選択します。
ランダム	ランダム再生をします(ON/OFF)。
リピート	リピート再生をします(ALL/FILE/FOLDER)。
情報表示	ファイルの情報を表示します。 ※ファイルに各種タグ情報がある場合に限り表示
ボリューム	ボリューム調整をすることができます。

Musicソース(SDミュージック)

アイコン	機能説明
MUTE	再生音声をMUTE(消音)にすることができます。
TOP	フォルダのトップへ移動します。
一つ上	フォルダの階層を一つ上に移動します。

注意

- リピートとランダムは同時に設定することはできません。

Movieソース(SDビデオ)

Movieソースについて

市販品のmicroSDカードに動画ファイルをコピーして、本機で動画再生することができます。

Movieソース画面



アイコン	機能説明
ソース	AVソース選択画面に切り替えます
映像	動画の映像を表示します。映像をタッチすると映像画面に切り替わります。
プログレスバー	再生時間をプログレスバーと分秒で表示します。
PLAY/PAUSE	再生または一時停止をします。
DOWN	ファイルダウンをします。
UP	ファイルアップをします。
フォルダリスト	フォルダリストから再生したいファイルがあるフォルダを選択します。
ファイルリスト	ファイルリストを選択します。
ランダム	ランダム再生します (ON/OFF)。
リビート	リピート再生します (ALL/FILE/FOLDER)。
情報表示	ファイルの情報を表示します。
ボリューム	※ファイルに各種タグ情報がある場合に限り ボリューム調整をすることができます。

Movieソース(SDビデオ)

アイコン	機能説明
MUTE	再生音声をMUTE(消音)にすることができます。
TOP	フォルダのトップへ移動します。
一つ上	フォルダの階層を一つ上に移動します。

⚠ 注意

- リピートとランダムは同時に設定することはできません。

Apple CarPlayモード

Apple CarPlayについて

本機にiPhoneを接続することにより、Apple CarPlayをスマートかつ安全に使用することができます。運転中にiPhoneで行いたい操作をApple CarPlayとして画面表示、操作します。運転中であってもナビゲーション、電話、メッセージ送受信、iPhoneの音楽を聴く等ができます。また、Siriの音声認識機能を使うことにより、iPhoneの操作がさらに簡単に行えます。

Apple CarPlayの詳細については下記のWebサイトをご確認ください。
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

接続可能なiPhoneについて

Apple CarPlayはiPhoneを接続して使用します。
iPhoneは最新バージョンにした上で接続してください。

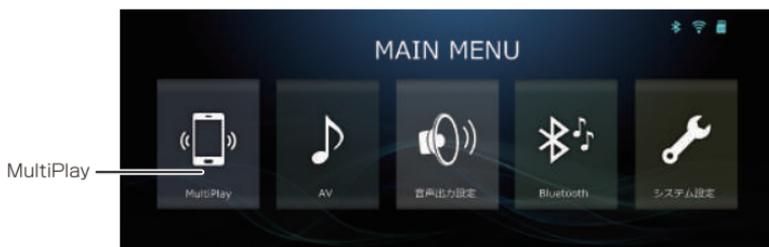
⚠ 注意

- iPhoneやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- ワイヤレス接続には、Wi-Fiやスマートフォンのテザリングを使用したインターネット接続が必要となります。
- テザリング等の通信には通信量がかかる場合があります。お客様のご契約内容をご確認の上、ご使用ください。
- iOSは最新ファームウェアでご使用ください。
- Apple CarPlayについての詳細は、Apple CarPlayサポートサイトをご確認ください。
- iPhoneは米国およびその他の国々に登録されているApple Inc.社の商標です。
- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されます。
- 本機のデバイス名称は固有IDが割り振られるため、「MZ-1024DSC_XXXX」としています。
- テザリングとの同時接続は通信が切断されたり、接続できない場合があります。
- iPhoneのWi-Fi設定が[OFF]の場合、接続することができませんので、必ず[ON]になっていることを確認してください。
- iPhone接続する際、「連絡先」を同期するか尋ねられる場合があります。[許可][許可しない]のいずれかを選択しても、CarPlayモードの電話アプリでは連絡先(履歴等含む)が同期されます。

Apple CarPlayモード

接続方法

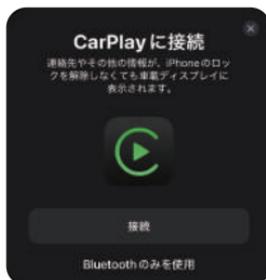
- 1.メインメニュー画面の「MultiPlay」をタッチします。



- 2.CarPlayモード接続画面が表示されます。
CarPlayモード以外のモード選択中(未接続)は、「CarPlay」モードに切り替えますか?とメッセージ表示されますので、「OK」をタッチします。
iPhoneのBluetooth接続をONにして「MZ-1024DSC_XXXX」と接続してください。



- 3.以下の画面がデバイスに表示されますので「接続」をタッチします。



表示例) iPhone ios18.1.1

Apple CarPlayモード

メインメニューに戻る

メインメニューに戻ります。 ※アイコン名、画像は接続する機器によって異なります



CarPlayを終了する

1.メインメニュー画面「MultiPlay」右上の「」をタッチします。



2.「OK」をタッチするとCarPlayを終了します。



Android Auto™モード

Android Auto™について

本機にAndroidスマートフォンを接続することにより、Androidスマートフォンの機能を使用することができます。

運転中であってもナビゲーション、電話、メッセージ送受信、音楽を聴く等、Androidスマートフォンの便利な機能が利用できます。

Android Auto™の詳細については下記のWebサイトをご確認ください。

<https://www.android.com/auto/>

<https://support.google.com/androidauto>

接続可能なAndroidスマートフォンについて

Android Auto™はAndroidスマートフォンを接続して使用します。

Androidバージョンを最新バージョンにした上で接続してください。

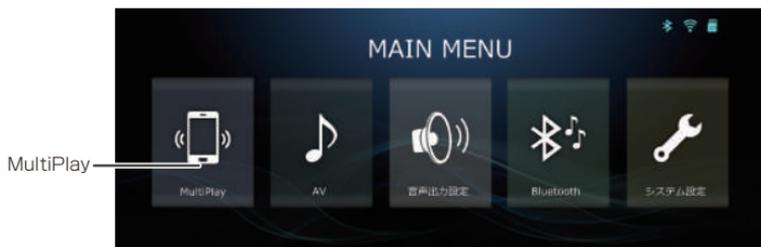
⚠ 注意

- 一部のスマートフォンには対応していない場合があります。
- Android Auto™機能をサポートするスマートフォンでご使用できます。
- ご利用のスマートフォンの対応状況については、ご利用の機器メーカーにお問い合わせください。
- スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示出来ない場合があります。
- ワイヤレス接続には、Wi-Fiやスマートフォンのテザリングを使用したインターネット接続が必要となります。
- テザリング等の通信には通信量がかかる場合があります。お客様のご契約内容をご確認の上、ご使用ください。
- Android Auto™は、Android OSを最新にしたスマートフォンでご使用ください。
- Android Auto™を使用する場合は、スマートフォン機種によっては、スマートフォンへの専用アプリ(Android Auto™)のインストールが必要な場合があります。
- Googleマップ、Google Play Music、Google検索アプリ等の更新が必要となる場合があります。
- Android Auto™についての詳細は、Android Auto™サポートサイトをご確認ください。
- Android、Android ロゴは Google LLC の商標または登録商標です。
- 本機のデバイス名称は固有IDが割り振られるため、「MZ-1024DSC_XXXX」としています。
- テザリングとの同時接続は通信が切断されたり、接続できない場合があります
- スマートフォンのWi-Fi設定が[OFF]の場合、接続することができませんので、必ず[ON]になっていることを確認してください。。

Android Auto™モード

接続方法

- 1.メインメニュー画面の「MultiPlay」をタッチします。



2. Android Auto™モード接続画面が表示されます。
Android Auto™モード以外のモード選択中(未接続)は、「Android Auto」モードに切り替えますか?とメッセージ表示されますので、「OK」をタッチします。
デバイスのBluetooth接続をONにして「MZ-1024DSC_XXXX」と接続してください。



メインメニューに戻る

メインメニューに戻ります。 ※アイコン名、画像は接続する機器によって異なります



Android Auto™モード

AndroidAuto™を終了する

1.メインメニュー画面「MultiPlay」右上の「」をタッチします。



2.「確認」をタッチするとAndroid Auto™を終了します。



AirPlayモード

AirPlayについて

AirPlayを使用することで、iPhoneの画面をミラーリングすることが可能です。

AirPlayの詳細については下記のWebサイトをご確認ください。

<https://www.apple.com/jp/airplay/>

接続可能なiPhoneについて

AirPlayはiPhoneを接続して使用します。

iPhoneは最新バージョンにした上で接続してください。

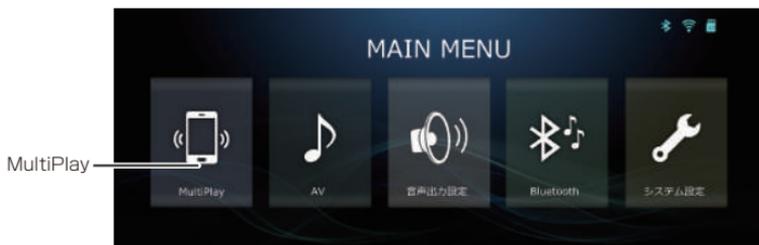
⚠ 注意

- iPhoneやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- ワイヤレス接続には、Wi-Fi接続が必要となります。
- iOSは最新ファームウェアでご使用ください。
- AirPlayについての詳細は、サポートサイトをご確認ください。
- iPhone、AirPlayは米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.社の商標です。
- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されます。
- 本機のデバイス名称は固有IDが割り振られるため、「CARKIT_XXXX」としています。
- テザリングとの同時接続は通信が切断されたり、接続できない場合があります。
- スマートフォンの映像を本機で表示しようとした際、下記の理由から映像表示ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※本製品の不具合ではありません
 - ① HDCP(デジタルコンテンツの著作権保護規格)対応の映像コンテンツの場合、コピーロテクトの関係から、映像表示や音声出力されない場合があります。
 - ② スマートフォンのOSアップデートやアプリのアップデート等により、映像表示や音声出力されない場合があります。
- iPhoneのWi-Fi設定が[OFF]の場合、接続することができませんので、必ず[ON]になっていることを確認してください。
- iPhoneのモデルやファームウェア等により、接続できない場合や期待した動作にならない場合があります。
- アプリにより、映像または音声出力できない場合があります。
- AirPlay モード表示中は Bluetooth 接続が強制解除されます。

AirPlayモード

接続方法

- 1.メインメニュー画面の「MultiPlay」をタッチします。



2. AirPlayモード接続画面が表示されます。
AirPlayモード以外のモード選択中(未接続)は、「AirPlay」モードに切り替えますか?とメッセージ表示されますので、「OK」を選択します。
デバイスのWi-Fi接続をONにして「CARKIT_XXXX」と接続してください。



3. iPhoneのコントロールセンター画面を開き「画面ミラーリング」をタッチします。



- 4.画面ミラーリングに表示された「MZ-1024DSC」をタッチします。

AirPlayモード

メインメニューへ戻る

1. 本体の「メニュー」ボタンを押してメインメニュー画面へ切り替えます。

AirPlayを終了する

1. メインメニュー画面「MultiPlay」右上の「」をタッチします。



2. 「OK」をタッチするとAirPlayを終了します。



AirPlayモード

メモ

- ・ アクセシビリティボタンは、ボタンをタッチしたままドラッグすると、移動することができます。



アクセシビリティ

Mirroringモード

Mirroringについて

Mirroringを使用することで、Androidスマートフォンの画面をミラーリングすることが可能です。

接続可能なAndroidスマートフォンについて

MirroringはAndroidスマートフォンのキャスト機能を使用して接続します。
Androidバージョンを最新バージョンにした上で接続してください。
※デバイス側のキャスト機能が非対応の場合、ミラーリング接続できません

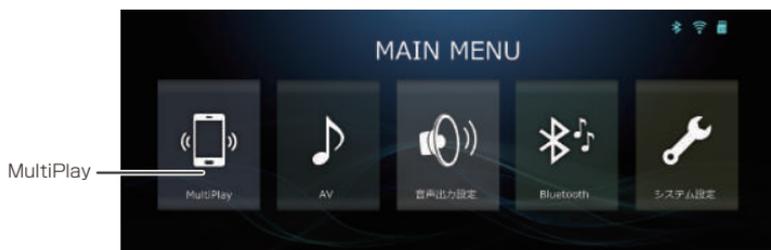
⚠ 注意

- 一部のスマートフォンには対応していない場合があります。
- すべてのスマートフォンの接続を保証するものではなく、一部機種では接続できない場合もあります。
- ご利用のスマートフォンの対応状況については、ご利用の機器メーカーにお問い合わせください。
- スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示出来ない場合があります。
- ワイヤレス接続には、Wi-Fi 接続が必要となります。
- Android OS を最新にしたスマートフォンでご使用ください。
- 本機のデバイス名称は固有 ID が割り振られるため「MZ-1024DSC_XXXX」としています。
- テザリングとの同時接続は通信が切断されたり、接続できない場合があります。
- スマートフォンの映像を本機で表示しようとした際、下記の理由から映像表示ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※本製品の不具合ではありません
 - ① HDCP（デジタルコンテンツの著作権保護規格）対応の映像コンテンツの場合、コピープロテクトの関係から、映像表示や音声出力されない場合があります。
 - ② スマートフォンの OS アップデートやアプリのアップデート等により、映像表示や音声出力されない場合があります
- スマートフォンのWi-Fi設定が[OFF]の場合、接続することができませんので、必ず[ON]になっていることを確認してください。
- スマートフォンのモデルやファームウェア等により、接続できない場合や期待した動作にならない場合があります。
- アプリにより、映像または音声が出力できない場合があります。

Mirroringモード

接続方法

- 1.メインメニュー画面の「MultiPlay」をタッチします。



- 2.Mirroringモード接続画面が表示されます。

Mirroringモード以外のモード選択中(未接続)は、「Mirroring」モードに切り替えますか?とメッセージ表示されますので、「OK」を選択します。

デバイスの「設定」→「キャスト」から「MZ-1024DSC_XXXX」と接続してください。

※Androidデバイスの機器により、操作方法・表示が異なることがあります。



メインメニューへ戻る

- 1.本体の「メニュー」ボタンを押してメインメニュー画面へ切り替えます。

Mirroringを終了する

- 1.メインメニュー画面「MultiPlay」右上の「」をタッチします。



Mirroringモード

2.「OK」をタッチするとMirroringを終了します。



メモ

アクセシビリティボタンは、ボタンをタッチしたままドラッグすると、移動することができます。



アクセシビリティボタン

Bluetooth

Bluetoothデバイスについて

Bluetooth対応の機器を接続することで、Bluetoothオーディオやハンズフリー通話等を行うことができます。

⚠ 注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周囲の安全を十分に確認した上、通話は手短に済ませてください。
- 走行中の通話操作やBluetooth機器設定は危険ですので、おやめください。
- 携帯電話接続ケーブルやUSBケーブル等を使っての接続はできませんのでご注意ください。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により本機との接続や動作に制限がある場合があります。
- Bluetooth機器（携帯電話機）の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器（携帯電話機）の互換性については、保証しかねます。
- Bluetooth機器側のバージョンにより、接続ができない場合があります。
- Bluetoothオーディオを使用される場合も、あらかじめ本機に機器登録をする必要があります。
- 携帯電話機端末やOSのバージョン等により、各画面の表示や機能、操作等が異なる場合があります。
- 本機は、全てのBluetooth端末において動作を保証しているわけではありません。

Bluetoothについて

- Bluetoothとは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用してBluetooth 対応機器を通して通信できます。本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。利用するには本機に機器を登録（ペアリング）する必要があります。

ハンズフリー通話

- 本機は、ハンズフリー通話ができますが、電話回線状況、使用する携帯電話機、通話相手の環境等により、エコー（残響音）が発生する場合があります。
- エコーを軽減するには、携帯電話本体の音量調整や本機の通話ボリュームの調整を行なってください。※完全にエコーを消すことはできません

データ通信について

- データ通信とハンズフリー通話と同時に使用ができる機種では、Bluetoothを使用したデータ通信時に着信があった場合、機種によっては、データ通信を終了する場合があります。

Bluetooth

発着信・通話について

- 携帯電話機のボタンを押して通話や発信をすることができますが、携帯電話の機種により、ハンズフリーができない場合があります。
- AVソースのBluetoothオーディオ使用中に発着信すると、Bluetoothオーディオの再生が一時中断されます。
- 携帯電話によって、着信と通話(発信)音量が個別に調整できない場合があります。
- 携帯電話の機種により、着信中や発信(通話)中に表示される電話番号は、国際識別番号で表示される場合があります。

通話・音楽アプリについて

- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用した場合については、動作保証外となります。また、アプリのバージョンアップに伴い、従来機能していたものが、機能しなくなる場合があります。
- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用された場合、期待した動作にならない場合があります。これは、本機の故障ではなく、アプリ依存によるものとなります。

Bluetoothデバイス登録/接続について

Bluetooth接続できる台数は1台となります。
別の機器を接続する場合は、接続済みの機器の接続を解除して、新たに接続し直してください。

Bluetoothを接続する

1.メインメニュー画面の「Bluetooth」をタッチします。



2.デバイス機器側のBluetooth検索(デバイス)リストに機器名称「MZ-1024DSC_XXXX」が表示されていることを確認します。

3. Bluetooth検索(デバイス)リストの「MZ-1024DSC_XXXX」をタッチすると接続が完了します。



※iPhoneを接続する場合、下図の画面が表示される場合があります。
Bluetoothを単独でご使用いただくときは、右上の「×」を押してください。

接続例) iPhone ios18.1.1



⚠ 注意

- Bluetooth デバイス機器の操作方法について、各メーカーへお問い合わせください。
- テザリングとの同時接続は通信が切断されたり、接続できない場合があります。
- Bluetooth デバイス機器によっては、接続ができない場合があります。
- AirPlay モード表示中は Bluetooth 接続が強制解除されます。

Bluetoothを使用する

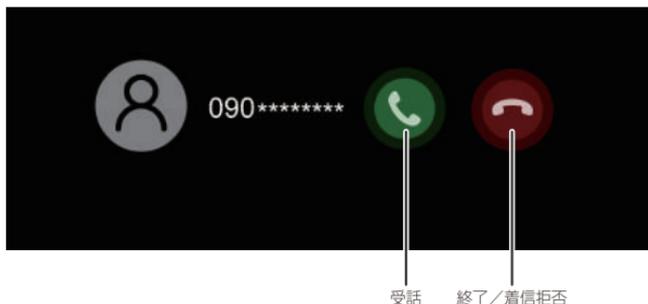
Bluetoothオーディオ画面



アイコン	機能説明
DOWN	ファイルダウンします。
PLAY	再生/一時停止をします。
UP	ファイルアップします。
ボリューム	ボリューム調整をすることができます。

Bluetoothを使用する

Bluetooth電話画面

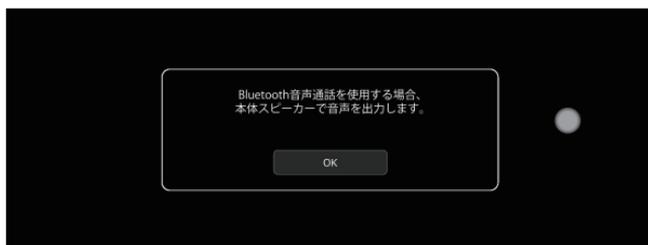


アイコン	機能説明
受話	着信を受けることができます。
終了/着信拒否	通話を終了、または着信を拒否します。

受話/発話をおこないます。

発信・着信後、通話状態になると、下図が表示されます。

現在の音声出力設定を維持する場合は無操作、本体スピーカーに切り替える場合は「OK」を選択してください。



⚠ 注意

本機はスマートフォン・カーオーディオ双方とBluetooth接続し、音声をカースピーカーから出力させています。(スマートフォン→本機→カーオーディオ)

そのため、Bluetooth通話時(受話/発話)は音声の受信・送信に遅延が発生し、音声か2重に聞こえることがあります。通話音声聞き取りにくいなど通話がしづらい場合は、本体スピーカーに切り替えご使用ください。

音声出力設定

音声出力設定画面

メインメニュー画面の「音声出力設定」をタッチすると、音声の出力先を設定する画面に切り替わります。



アイコン	機能説明
本体スピーカー	音声は本体のスピーカーから音声出力されます。
AUX	付属のAUXケーブルおよびAUXケーブル変換ユニットに接続された外部機器から音声出力されます。 ※接続方法については、P48参照
Bluetooth	音声はBluetoothを経由して、Bluetooth接続されている外部機器から音声出力されます。 ※「検索リスト」より接続したい機器の名称を選択して「OK」をタッチしてください。
戻る	前の画面に戻ります。

⚠ 注意

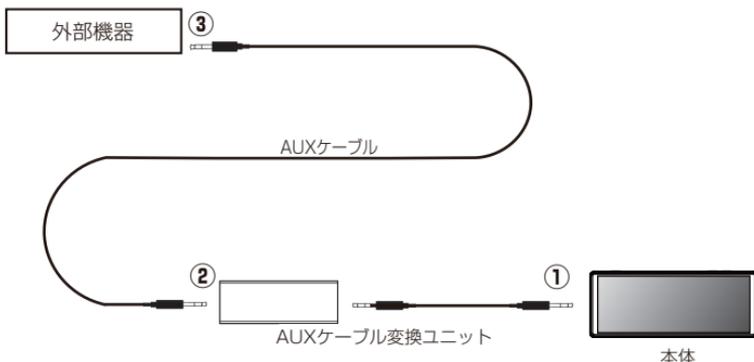
Bluetooth出力を外部機器と接続する場合、外部機器のPINコードを「0000」に設定してから接続してください。

音声出力設定

AUXケーブル変換ユニットについて

音声出力設定で[AUX]を選択した場合、以下の接続を行ってください。

| 接続例



- ① ----- 本機のAUX OUT(φ3.5)へ付属のAUXケーブル変換ユニットのケーブルを接続します
- ② ----- 付属のAUXケーブルをAUXケーブル変換ユニットへ接続します
- ③ ----- AUX外部機器へ接続します

注意

- Bluetoothの音声出力は、本機とBluetooth外部機器を接続して音声を出します
- AUXケーブルを接続した際、音声出力設定を「AUX」に選択しないと、AUXケーブル経由による外部機器から出力されませんので、必ず「AUX」を選択してください。
※「本体スピーカー」を選択している場合、本体スピーカーおよびAUX外部機器から同時に音声出力されます
- AUXケーブルを接続する際は、外部機器側の音量を下げた状態で接続してください。
外部機器側の音量が大きい状態で接続すると、電気的なノイズ（これは故障ではありません）が発生する場合があります。
- 音声出力設定で「AUX」を選択している場合、必ず付属のAUXケーブルとAUXケーブル変換ユニットをご使用ください。
- 付属品以外をご使用になると、ノイズが発生する場合があります。
- 付属のシガー電源アダプター以外を使用した場合、ノイズが発生する場合があります。
必ず、付属のシガー電源アダプターをご使用ください。

機能設定



アイコン	機能説明
通信設定	通信・接続に関する設定をおこないます。
システム設定	システムの設定をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

通信設定



アイコン	機能説明
Wi-Fi	Wi-Fiのオン/オフを設定します。
デバイス機器削除	登録されているデバイス機器を削除します。
自動接続	本機を起動したとき、CarPlay/Android Autoとが自動で接続されます。 ※オフに設定していた場合は、MultiPlay画面へ遷移すると自動接続されます

機能設定

システム設定



アイコン	機能説明
操作音	タッチ音のオン/オフを設定します。
音量	音量を調整します。
明るさ	画面の明るさを調整します。
Assistive	MultiPlayを接続時、アクセシビリティボタンを表示します。 ※、アクセシビリティボタンをタッチするとショートカット機能を表示します
初期化	工場出荷状態に戻します。

バージョン情報



表示	機能説明
ソフトウェア	ソフトウェア情報を表示します。
モデル番号	モデル番号を表示します。
Bluetoothバージョン	Bluetoothのバージョン情報を表示します。

2画面表示

2画面機能(TV(ワンセグ)/CarPlay/Android Auto™)

本機では、TVとCarPlay/Android Auto™を2画面分割表示できる「2画面表示」機能を搭載しています。

2画面表示設定方法

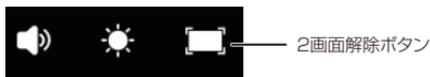
CarPlay/Android Auto画面に表示されている「アクセシビリティ」をタッチします。



2画面表示解除方法

DUAL MAP画面中に、以下のボタンをタッチすることでDUAL MAPが解除されます。

- ①の映像画面を2回タッチすることでAVソース映像画面(全画面)に切り替わります
- ②のアクセシビリティをタッチして2画面解除ボタンをタッチすることでCarPlay/Android Auto画面(全画面)に切り替わります



⚠ 注意

- 2画面(左右)位置は固定となり、入れ替えることはできません。
- 2画面にした場合、AVソースの映像画面サイズが自動的に切り替わるため、小さく表示されます。また、画面比率は実際の画面表示と異なる場合があります。
- 2画面へ切り替えるまたは2画面から全画面に切り替える際、一時的に音声途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- チャンネル変更はできません。

別売品について

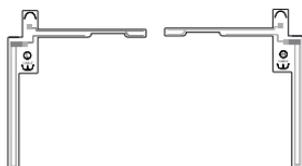
テレビ用フィルムアンテナ

TV(ワンセグ)の受信感度が悪い場合は、以下のテレビ用フィルムアンテナをお求めください。

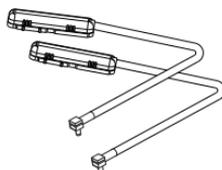
製品型番:FA-01

別売品のフィルムアンテナは、L用とR用のセットとなります。
本製品はL用もしくはR用どちらか一方を使用しますので、ご注意ください。
お車に合わせて、L用もしくはR用のアンテナをご使用ください。

フィルムアンテナ×2

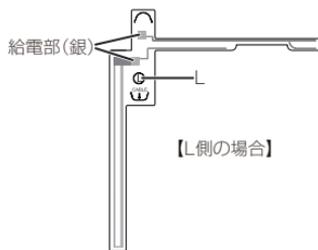


アンテナケーブル(アンプ付き)×2

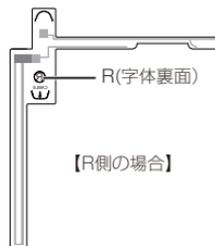
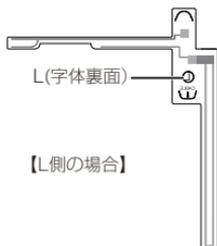


テレビ用フィルムアンテナの構造

車側:「L」と「R」の文字が通常に確認できる面が車の内側になります。



フロントガラス側:「L」と「R」の文字が反対になる面がフロントガラス側になります。



別売品について

テレビ用フィルムアンテナの取り付け位置について

テレビ用フィルムアンテナを取り付ける場合は、本体お買い上げ販売店や専門業社にご依頼ください。

△注意

- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます
※最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください
- フィルムアンテナは、車室内取り付け専用となります。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用となります。フロントウィンドウ以外には貼り付けしないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けしないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因となります。
- フィルムアンテナの取り付け前に車内の内張りを取り外す必要がある場合がありますが、ピラーを外す際、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを外さないでください。
フロントエアバッグの誤動作などの原因となり、大変危険です。ピラーを取り外さずにフィルムアンテナを取り付ける方法について、詳しくはお買い上げ販売店にご相談ください。
- 必ず、フロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によっては、取り付けができない場合があります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合、テレビ受信感度が極端に低下します。
- 必ず、車内の取り付け場所に、市販のテープなどで仮留めをして、エレメントやアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- フィルムアンテナは車載機器(※1)および各アンテナ類(※2)から50cm以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、DTVが正常に機能せず電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。
※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、
ドライブレコーダーなど
※2 ETCアンテナなど
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートを剥がした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどの接触不良の原因となります。
- 他のアンテナから十分離してください。受信感度やノイズの原因となります。
- 他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。
- 一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しはできません。
- 必ず、アンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮留めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。

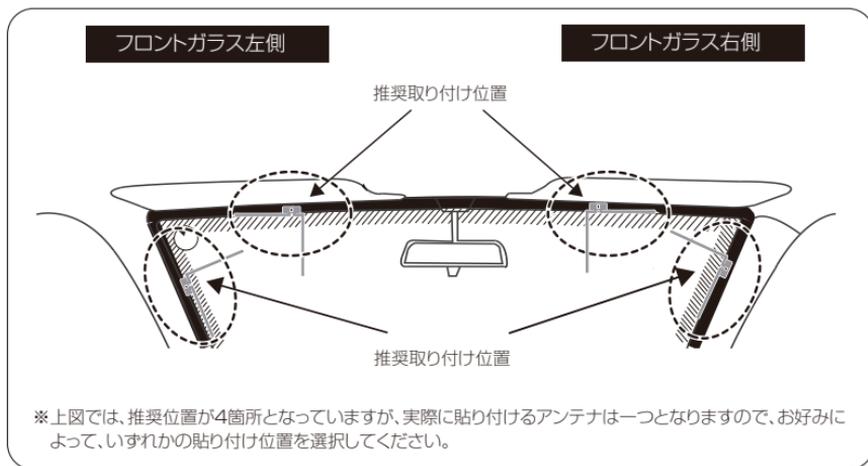
別売品について

次のようなところでは映像が受信しにくい、または受信できない場合があります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器(※)が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。

※電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/
ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

貼り付け位置について(推奨)



メモ

- ・アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- ・受信感度低下を防ぐために、他のアンテナやETC受光部から離して貼り付けてください。
- ・アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックラインまたは内張りにならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

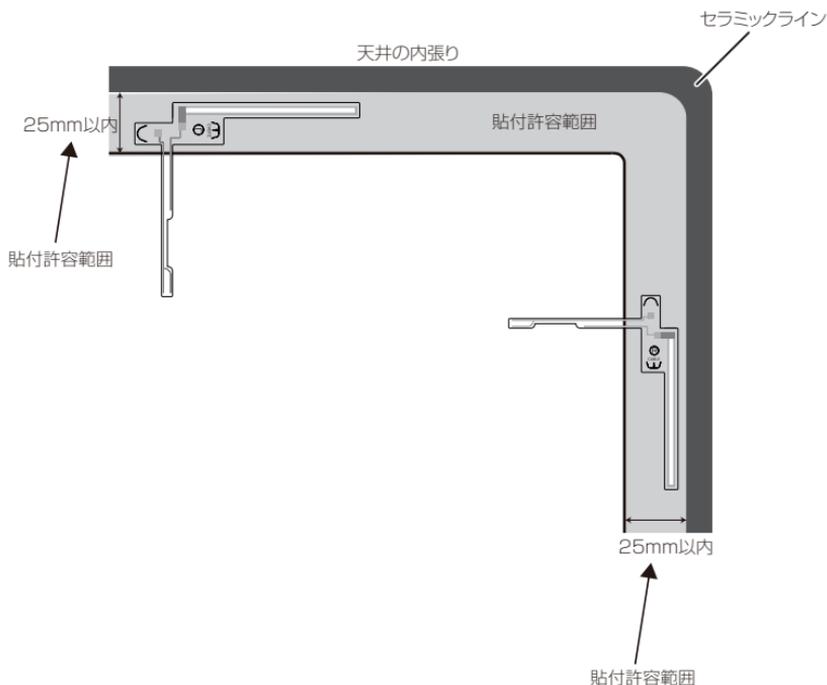
別売品について

貼付許容範囲について

フィルムアンテナの給電部およびアンブ部は、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲:セラミックラインよりも内側に25mm以内の範囲

※セラミックライン:フロントウィンドウの端の黒い部分及び黒い点々部分



⚠ 注意

- ・運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ貼付許容範囲」および「エレメント貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると、道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。
- ・正しく取り付けを行わないと、ワンセグの受信に影響が出ます。

別売品について

テレビ用フィルムアンテナの取り付け位置について

手順1)

フィルムに仮位置を決めます。

手順2)

車内の内張などを取り外します。

手順3)

ケーブルを引回す仮位置を決めます。

手順4)

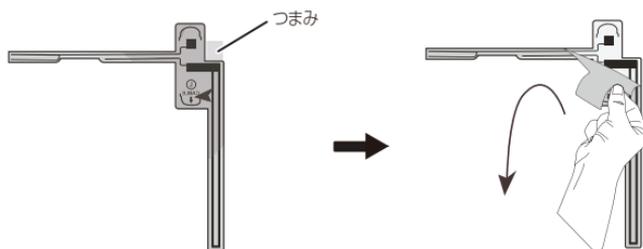
フロントウィンドウの内側の汚れや油などを取り除きます。

手順5)

フィルムアンテナを貼り付ける場所を十分に乾燥させます。

手順6)

フィルムアンテナ背面テープ余白部分(つまみ)を持って、セパレーターを剥がし、あらかじめ決めた位置に貼り付けてください。 ※フィルムの貼り直しはできませんのでご注意ください

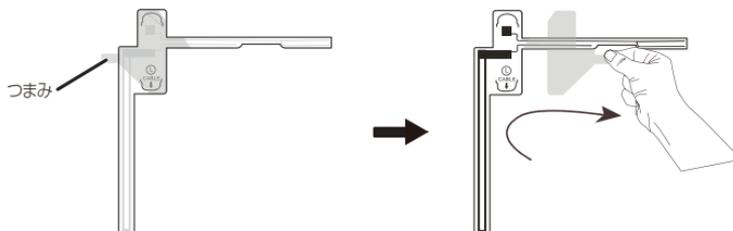


手順7)

フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。

手順8)

フィルムアンテナ正面のラベルを持って、セパレーターを剥がしてください。



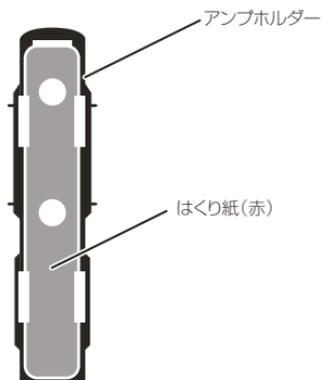
別売品について

手順9)

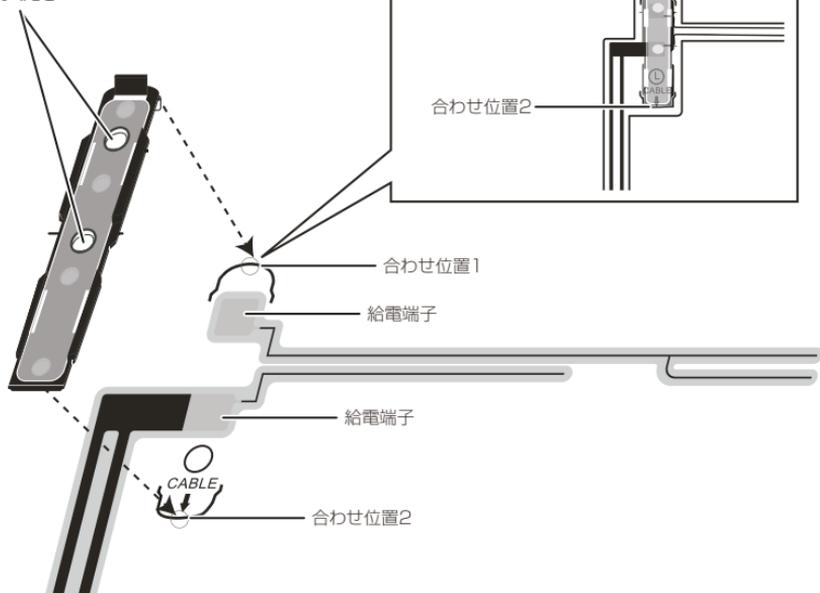
アンプホルダーの裏面のはくり紙を剥がします。

手順10)

給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。
アンプホルダーの「突起部1」「突起部2」とエレメントの「合わせ位置1」「合わせ位置2」が合うように取り付けます。



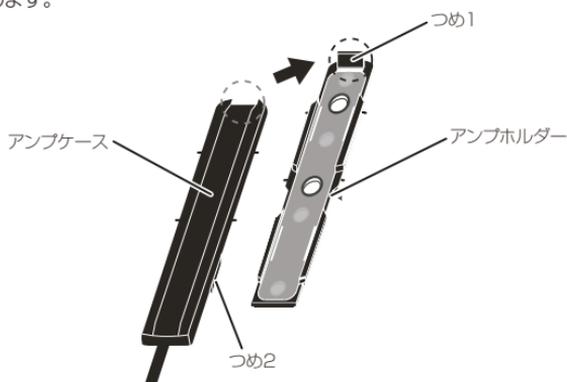
この穴から給電端子が見えることを確認してください



別売品について

手順11)

アンプホルダーの「つめ1」にアンプケースの先端をひっかけて、それを支点にして「つめ2」を固定します。



手順12)



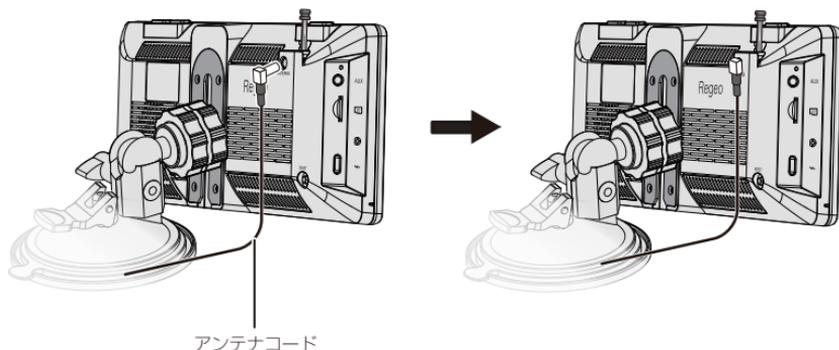
付属のアンテナ固定用テープでケーブルを固定してください。

※アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷が掛かり外れる原因となります。

別売品について

手順13)

アンテナコードを本機のテレビ用フィルムアンテナ接続端子へ接続します。



⚠ 注意

- ピラーにエアバッグが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないように配線してください。
- 車両のペダル付近や運転の妨げになる場所には配線をしないでください。
- 配線する際は、他のケーブルからできるだけ離してください。他のケーブルからのノイズ干渉により、受信感度が低下する可能性があります。
- フィルムアンテナの貼り直しは粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがありますので、おやめください。
- アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり外れる原因となることがあります。
- フィルムアンテナの貼り付け作業する場合、電源が ON になっている本体に接続した状態では作業をしないで下さい。通電状態でフィルムアンテナの貼り付け作業行くと、電氣的ショートが発生し、アンテナが故障します。作業する場合は、接続コネクタが本体と接続されていない状態であることを確認してください。

トラブルシューティング

本機を資料時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

一般・AVソース

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●シガー電源アダプターは正しく接続されていますか？ ●ヒューズは切れていませんか？ ●本体の電源はオンになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●配線を見直してください ●ヒューズを交換してください ●本体の電源をオンにしてください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量(ボリューム)が0になっていませんか？またはMUTEになっていませんか？ ●イヤフォンが接続されていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量をあげてください。またはMUTEを解除してください ●イヤフォンを取り外してください
誤動作する タッチキーが効かない	-	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のリセットボタンを押して、再起動してください
ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で再生できるフォーマットですか？ ●ファイルに拡張子がついていますか？ ●ファイルサイズは正しいですか？ ●microSDカードは正しく挿入されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●再生できるフォーマットであるかを確認してください ●ファイルの拡張子が正しいか確認してください ●ファイルのサイズを確認してください ●microSDカードが正しく挿入されているか確認してください
TV(ワンセグ)が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッドアンテナは格納されていませんか？ ●スキャンを行いましたか？ ●受信が安定しているエリア/場所ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッドアンテナを伸ばしてください ●スキャンを実行してください ●受信可能なエリア/場所に移動してください ●上記を試しても受信ができないまたは不安定な場合は、別売品のテレビ用フィルムアンテナ(FA-01)をお買い求めください

SDカード/メディアについて

対応メディアについて

対応SD	SDHC(4GB~32GB)
ファイルシステム	FAT32
スピードクラス	Class 10まで

▲注意

- ノイズや故障の原因となるため、フォーマットの異なるファイルに上記の拡張子を付与しないでください。
- 音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります。
- サンプリングレートやビットレート、量子化ビット数等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- プロファイルや対応解像度、フレームレート、ビットレート等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- ファイルにタグ情報が書き込まれている場合であっても「Unknown」表示または空欄の場合があります。
- ファイルのエンコードおよびライティングソフトにより、正しく再生および情報表示できない場合があります。
- 書き込んだ文字コード情報によって、表示内容が正しく表示されない場合があります。
- フォルダやファイルの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したもとは異なる場合があります。
- ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります（最大 4GB まで）。
- 再生できないファイルの場合、ファイルスキップを行う場合があります。
- microSD カードは全てのメーカーを保証しているわけではないため、認識しない場合があります。その場合は、microSD カードを交換してください。
- microSD カードを本機に接続すると、microSD カード内に「LOST.DIR」というフォルダが自動的に生成される場合があります。これは、システム上の働きであり、故障ではありません。「LOST.DIR」をそのまま残した状態でも使用することができます。
- 非対応の解像度やフレームレートでファイル再生させると、本機の再生動作が不安定となり、期待した動作にならない場合があります。
- 解像度やフレームレートが対応しているファイルであっても、ファイルサイズやエンコード内容によっては正しく再生されない場合があります。
- 長時間のファイルは正しく再生されない場合があります。
- 映像ファイルが正しく再生されない場合、解像度のサイズを下げる、フレームレートを下げる、コーデックの組み合わせを見直すことで解消される場合があります。
- microSD カード内のデータは必ずバックアップをとってください。データ消失その他の損害が生じた場合、一切その責任を負い兼ねます。

仕様

本体仕様について

ワンセグチューナー内蔵9.3インチポータブルディスプレイオーディオ

品番	MZ-1024DSC
ディスプレイ	9.3インチIPS 1600×600
microSD	対応(MUSIC/VIDEO)
仕様電源	5V2A(DC12V~24V対応)
動作温度範囲	-10℃~60°
AUX出力対応	○(3.5mmミニジャック)
バックカメラ	×
TV(ワンセグ)	ワンセグチューナー内蔵(1ロッドアンテナ)
対応音楽データ形式	MP3
対応ムービー形式	MP4
本体重量	約430g
寸法	約244(W)×96(H)×29(D)mm
付属品	シガー電源アダプター(ケーブル約1.5m)、AUXケーブル(0.1/0.5m) AUXケーブル変換ユニット、吸盤スタンド、吸盤プレート(3M製粘着シート付)、クッション材、クリーニングクロス、ケーブルランパー(4個) 脱落防止ストラップ、取扱説明書、保証書

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてご注文ください
※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

別売(オプション)品について

別売品をお求めの場合は、サービスセンターまでお問い合わせください。

別売品	製品型番
テレビ用フィルムアンテナ	FA-01

技術基準適合証明について

●本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しております。

  220-JP8755

Regeo

販売元：**株式会社イノベティブ販売**

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

innovativesale.co.jp

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp

